

平成26年 2月 5日

京都大学大学院理学研究科  
附属天文台  
台長 柴田一成

平成26年度 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡(DST)観測研究課題公募

飛騨天文台のドームレス太陽望遠鏡を使用した平成26年度の観測研究課題を、以下の要領で募集いたします。

1. 公開期間

前期：4月 7日（月）～ 8月 1日（金）

後期：9月 8日（月）～12月12日（金）

2. 申し込み方法

(1) 課題申請用紙を以下のホームページからダウンロードしてください

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/observation/proposal/>

(2) 申請用紙に必要事項を記入し、飛騨天文台 DST 係宛 ([hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp)) に電子メールで添付ファイルとして送信して頂くか、以下の宛先までお送り下さい。

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱 京都大学飛騨天文台 DST係  
記入欄のスペースが足りない場合は、適当に拡大して頂いたり、別紙を付けて頂いたりしても結構です。

(3) 受付担当からのメールが届いたことを確認してください。(受付担当者からのメールが届かなければまだ申請は受けられていません。数日経ってもメールが来ない場合はお問い合わせ下さい。)

(4) 申し込み締切 平成26年3月5日（水） 必着

(5) 研究課題立案に必要な望遠鏡設備の情報は以下のホームページをご参照ください。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/general/facilities/dst/index.html>

### 3. 採択結果の通知

採択結果は3月下旬にメール、もしくは郵便でお知らせ致します。

なお、今回から、DSTの共同利用設備的性格をより高めるため、応募頂いた申請書の審査には国立天文台太陽観測所長に加わって頂くことになりました。

### 4. そのほか

(1) DST常設以外の光学系や諸機器を使用される場合は、その設置について十分な検討が必要です。あらかじめお知らせください。

(2) 教育目的の実習等でのDSTの利用も対応可能な場合がありますので、そのような計画をお持ちの方は、当公募とは別途、飛騨天文台DST係まで御相談下さい。

(3) 原則として来台初日に研究課題、観測計画・方法についてセミナーにて発表していただきますので、発表資料をご準備ください。

(4) 当該年度の公開期間終了後に行なわれるユーザズミーティングを兼ねた太陽研究会において、改めて研究課題や観測結果・成果について発表していただきます。

(5) 機器故障や太陽活動状態によって、観測期間の変更をお願いする場合がありますこと、ご了承ください。

(6) DSTで取得されたデータは、当天文台に帰属します。成果を公表する場合には、当該データがDSTにて取得された旨を明記ください。また、別刷り3部を飛騨天文台DST係宛までお送りください。

(7) ご不明点は、飛騨天文台DST係までお問い合わせください。

電子メール：[hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp)、電話：0578-86-2311、FAX：0578-86-2118

以上

# 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡 観測研究課題申請書

年 月 日

## 1. 研究課題名

--

## 2. 研究代表者

氏名： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_ 職名又は学年： \_\_\_\_\_

住所： 〒 \_\_\_\_\_

tel. : \_\_\_\_\_ fax : \_\_\_\_\_ e-mail : \_\_\_\_\_

本課題取得データの学位論文での使用予定： あり・なし

## 3. 共同研究者

氏名	所属・職名又は学年	tel.	e-mail

## 4. 観測テーマ、観測方法（具体的に）

--

5. これまでの取得データの現況（継続の場合）及び論文執筆の計画

6. 観測希望単位数および希望日

観測期間は原則として月曜から金曜を一単位とします。

スケジュール調整の参考にしますので、各単位につき複数の来台希望期間をご記入下さい。

希望単位数：

第一希望期間：

第二希望期間：

第三希望期間：

7. 送迎の要不要について

濃飛バス「堂殿」もしくは「本郷」、「見座」停留所～天文台間のみ、天文台公用車による送迎が可能です。

必要（堂殿まで・本郷まで・見座まで）

不要